

## 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会第17回理事会議事録

### 1. 開催日時

平成28年12月13日(火) 午後3時00分

### 2. 開催場所

東京都港区虎ノ門一丁目23番1号虎ノ門ヒルズ森タワー会議室

### 3. 出席者数

理事総数 35名 出席理事数 32名  
監事総数 2名 出席監事数 1名

### 4. 出席者氏名

名誉会長 御手洗 富士夫

理事 森 喜朗、武藤 敏郎、布村 幸彦、竹田 恆和、河野 一郎、  
山脇 康、河野 博文、佐藤 広、荒木田 裕子、  
中森 邦男、米村 敏朗、谷本 歩実、田中 理恵、  
横川 浩、ヨーコ ゼッターランド、川井 しげお、高島 なおき、  
河野 雅治、松本 正義、小林 耕士、秋元 康、蜷川 実花、  
高橋 治之、萩生田 光一、平岡 英介、鈴木 大地、津賀 一宏、  
塩見 清仁、泉 正文、山本 隆、遠藤 利明、王 貞治

監事 黒川 光隆

### 5. 議事の経過の概要及び議決の結果

上記のとおり定足数の出席があったので、定刻、定款第33条の規定に基づき代表理事(会長)森喜朗氏が議長席に着き開会を宣し、挨拶をした後、本理事会の進行役として理事武藤敏郎氏を指名し、武藤敏郎氏はそれを承諾した。

その後、進行役は、直ちに下記議事の審議及び報告事項の報告に入った。

[決議事項]

第1号議案 ボランティア戦略について

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料1-1、1-2及び1-3記載のとおり、東京2020大会に向けた「ボランティア戦略」策定のこれまでの経過及び意見募集結果、「ボランティア戦略」の主な内容、今後のスケジュールを説明した。

その後議長が、別紙資料1-3記載のとおり「ボランティア戦略」を策定することにつきその承認を議場に諮ったところ、満場一致の議決をもって原案どおり承認可決された。

## 第2号議案 持続可能性に配慮した運営計画 第一版(案)について

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料2-1及び2-2記載のとおり、「持続可能性に配慮した運営計画第一版(案)」について、その策定の趣旨、策定経過、計画の概要等を説明した後、本計画の実現及び影響調査の実施等について説明した。

その後議長が、別紙資料2-2記載のとおり「持続可能性に配慮した運営計画第一版(最終案)」を策定することにつきその承認を議場に諮ったところ、満場一致の議決をもって原案どおり承認可決された。

## 第3号議案 開催都市契約 運営要件の適用について

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料3-1、3-2及び3-3記載のとおり、「開催都市契約」の概要を説明した後、「開催都市契約」の運用要件の適用に関するこれまでの経緯及び主な大会運営要件(義務事項)の変更のポイント等を説明した。

続いて、別紙資料3-1及び別紙2記載の「開催都市契約」の運営要件の合意事項(主な変更内容)を具体的に説明した後、今後の流れを説明した。

その後議長が、別紙資料3-1及び別紙2のとおり「開催都市契約」の運営要件を変更することにつきその承認を議場に諮ったところ、満場一致の議決をもって原案どおり承認可決された。

### [報告事項]

#### 1. マスコットの選考について

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料4記載のとおり、大会マスコットの選考方法について、IOC及びIPCの許諾が必要である旨報告した後、マスコット選考に必要な視点、マスコット選考検討会議を設置する旨及びその役割、今後のスケジュール等を報告した。

#### 2. 聖火リレーについて

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、平成28年11月28日開催の「全国知事会議」及び「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたシンポジウム」で報告したとおり、別紙資料5記載のとおり、「聖火リレーの検討体制(案)」の内容及び今後の予定等を報告した。

理事より、前回大会のレガシーの一つであるスポーツ少年団に再び聖火リレーの役割を担わせたいとの要望が出たため、事務局より、聖火リレーは多くの方々の協力を要する大きな行事であるため、関係する方々とよく連携しながら検討を進めていく旨回答した。

#### 3. アスリート委員会の活動報告について

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料6記載のとおり、アスリート・ファーストの大会を実現するために、アスリート委員会の下にWG1及びWG2の2つのワーキンググループを設置して活動している旨報告し、WG1及びWG2それぞれの活動目的を報告した。

続いて、WG1の所管事項及び主な取組内容、実際の取組状況等を報告した。

続いて、WG2の所管事項及び主な取組内容、実際の取組状況等を報告し、リオ大会でのアンケート調査の結果概要等もあわせて報告した。

その後、平成28年12月2日開催のIOC調整委員会で報告した際に受けたコメントを報告した後、今後の活動予定等を報告した。

#### 4. 選手村 施設整備の進捗状況について

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料7記載のとおり、大会時の選手村のイメージ

図を用いて、宿泊棟及び仮設整備エリア等の整備予定を報告した後、主な施設の進捗状況等を報告した。

#### 5. 東京2020参画プログラムについて

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料8記載のとおり、「東京2020参画プログラム」の概要、対象団体、現状及び課題等を報告した。

その後、「東京2020参画プログラム」として実施した事業の趣旨、概要及び主催等を報告した。

#### 6. 都市鉱山から作る！みんなのメダルプロジェクトについて

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料9記載のとおり、「都市鉱山から作る！みんなのメダルプロジェクト」実施に際しての事業協力者選定の概要、事業協力者選定スケジュール及び審査体制等を報告した。

#### 7. 東京2020における調達手続きについて

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料10及びその添付資料記載のとおり、まず、「東京2020の調達手続」を外部公表する背景、主な公表内容及び「東京2020組織委員会との取引を希望する事業者に対する手続・注意事項」の内容を報告した。

#### 8. 国際オリンピック休戦財団理事会、調整委員会会議及びIOC理事会の報告について

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、まず、別紙資料11-1記載のとおり、国際オリンピック休戦財団（IOTF）の概要、平成28年11月9日に開催されたIOTF理事会の出席者及び報告内容等を報告した。

続いて、別紙資料11-2記載のとおり、平成28年12月1日、2日に開催された第3回IOC調整委員会会議について、出席者、会議の概要等を報告した。また、コーツ委員長からのコメントの要旨もあわせて報告した。

続いて、別紙資料11-3記載のとおり、平成28年12月6日から8日まで開催されたIOC理事会について、出席者、会議の概要等を報告した。また、平成28年8月3日のIOC総会で決定された5競技18種目の追加種目の競技会場についても承認された旨報告した。

#### 9. サインプレゼントキャンペーンについて

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、別紙資料12記載のとおり、「サインプレゼントキャンペーン」の施策内容、目的、応募方法、プレゼント内容、実施期間（予定）等を報告した後、プレゼント例を紹介した。

理事より、東京2020公式Twitterアカウントのフォローについての質問があったため、事務局より、フォローしていただいた方については、プレゼントの対象だけでなく、その後当法人として様々な情報を発信していく旨回答した。

#### 10. 全体の進捗管理について

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、会議室のモニターに資料を提示し、全体業務進捗管理（PMO）設置の目的、現在設置している52のファンクショナルエリア（FA）、月次報告（2016年10月）の内容等を報告した後、進捗管理におけるメリット及び今後の方針等を報告した。

#### 1 1. 四者協議について

議長の指示により進行役が指名し、事務局は、四者協議の進捗状況のほか、別添資料記載のとおり（モニターにて表示）、四者協議にて協議中である東京2020大会の当法人の予算及びその他の経費につき見通しを説明し、報告した。

当法人の予算については当法人として意思決定する必要があると考えられる一方、四者協議の結果を踏まえて最終的に確定し、また公表すべき事項であることから、当法人としての予算の公表時期も踏まえつつ、必要に応じて事前又は事後に書面決議の方法により理事会決議による承認を得るかたちで進める可能性があり得る旨を説明したところ、理事及び監事から特段の異議等はなされなかった。

以上をもって本理事会における全議案の審議を終了したので、議長が挨拶をした後、午後5時10分閉会を宣した。

平成28年12月13日

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会